

広報 いまり

毎月1日発行 定価1部24円 昭和56年9月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No.331

創造と生きがいを求めて
焼き物づくりを楽しむお年寄り
そこには明るい笑い顔と希望が…
(老人センター横 生きがいと創造の家より)

'56

9月

〈人口〉 男29,169人 女32,323人 計61,492人 (前月比+90人) 〈世帯〉 16,920世帯 (8月1日現在)

体を直撃

国の財政再建に 対する市の対応

金4億800万円ですが、一律に1割カットされた場合4,000万円の減、また道路整備事業費として自動車重量税があてられています(昭和55年度1億4,600万円)これがあてにならなくなります。

教科書の無償制度を廃止された場合、保護者の負担は1,600万円になります。

その他、国の補助金全般について減額が検討されることになっていますので、伊万里市が受ける影響や、国民、市民が受ける影響は大であると思われます。

伊万里市行財政 検討委員会設置

秋の臨時国会は行政改革国会になるといわれています。

その中身は、財政建て直しのため「財政再建臨時特例措置法案(仮称)」を中心とする、国から出す金をいかに減らすかの関係法律の審議です。

この行革国会とともに、地方自治体に財源不足、財政難の波が押し寄せてくることは必至で

す。

市では、国の行政改革の動向を勘案し、伊万里市財政の健全な運営を図るため、行財政の抜本的見直しを行い、実効ある改革をすゝめ、市民の要請に応えるため「伊万里市行財政検討委員会」を設置しました。

委員会は、市の行財政の見直しを行い、行政の合理化、効率化をいかに図っていくか、また国の財政建て直しにより市財政が窮地に陥らないよう健全な財政を守るため、委員は助役以下部課長10名、幹事35名で構成し検討することになっています。

地方の時代に 沿った改革を

ひっ迫した国の財政を建て直すことは必要で、避けて通れない時期にきていますが、一律に補助金を減らすとか、また伊万里市のように産炭地、過疎地として、自主財源の少い市(地域)に特別に一般の補助率より上積みして補助金を交付し、財源の

豊かな地域と行政水準の均衡をとってきた特例措置がなくなるとは、自主財源の多い自治体と少ない自治体の行政水準が異なり、地域間の格差が生じることになります。また、国の予算が編成されるときや補助金が決定される時期は、東京で陳情合戦が繰り広げられます。この陳情に要する費用は、全国的にみると膨大な金額になると思われますが、まったく無駄な費用です。

地方自治体の予算のうち、国からの補助金は相当な割合を占めておりそれは、陳情合戦で国の補助金次第で左右されるような自治体の現状では地方自治もなにもあったものではなく、まさに、国が、地方自治体を「金」という手綱で操っているとんでもない過言ではありません。

陳情合戦をしないで済むような行政制度の確立、日本国民として地域間の格差のない行政水準が確保できる制度への改革こそが必要と思われます。行政改革が国の財政建て直しのみにとどまらず、本来の地方自治ができるような改革がなされなければなりません。

私は今年の大移動で沢山の荷物をさげて移動される姿を見て、ふと「お土産」ということを考えた。
「土産」を辞書で引くと旅行先から家に持って帰るその土地の産物の意味と他人を訪問するときの贈り物との二つがあるが、その本来の意味は前者の方で、私が気になったのは、土地の

今年のお盆を最盛期として日本民族の大移動が行われた。
祖先の祭りを中心に家族や親族が一年に一回郷土に集めることは日本独特のいい風習である。
また夏休みを機会に海や山でからだを鍛え、家族やグループで、また見知らぬ人と交流を深めることも大切である。
たゞ大移動には常に事故が伴い、折角の楽しみが一瞬のうちに惨事となり、今年も多数の犠牲者を出したことは遺憾に堪えない。



市の台所

昭和55年度 下半期の収支状況

昭和55年度の一般会計決算見込みは、歳入総額138億3774万円で、歳出総額136億7693万円、差引1億6,081万円の黒字となりました。各会計の決算見込みのあらましは、次のとおりです。

一般会計

＝ 歳 入 ＝

138億3,774万円

歳入総額 138 億 3,774 万円のうち、市税などの自主財源は、35 億 3,942 万円（25.6%）であり、地方交付税、国庫支出金

市債などの依存財源が 102 億 9,832 万円（74.4%）を占めています。いかに国や県に依存した財政運営かが云えます。

収入額の主なものは、国庫支出金35億794万円（25.4%）、地方交付税33億2,347万円（24.0%）、市税25億734万円（18.1%）、市債17億3,540万円（12.5%）などです。

＝ 歳 出 ＝

136億7,693万円

歳出総額 136 億 7,693 万円を性質別にみると、人件費、扶助費、物件費などの消費的経費が 69 億 8,010 万円（51.0%）、次に普通建設事業費、失業対策事業費などの投資的経費が 55 億 7,038 万円（40.7%）となっています。その他、市債元利償還金などの経費11億2,645万円（8.3%）を支出しています。

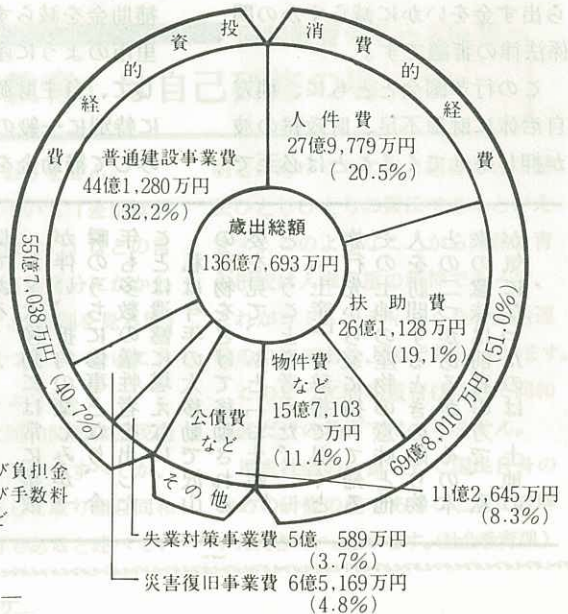
予算額 137 億 9,366 万円に対し執行率は99.2%となっています。

昭和55年度一般会計決算見込

財源別の歳入割合



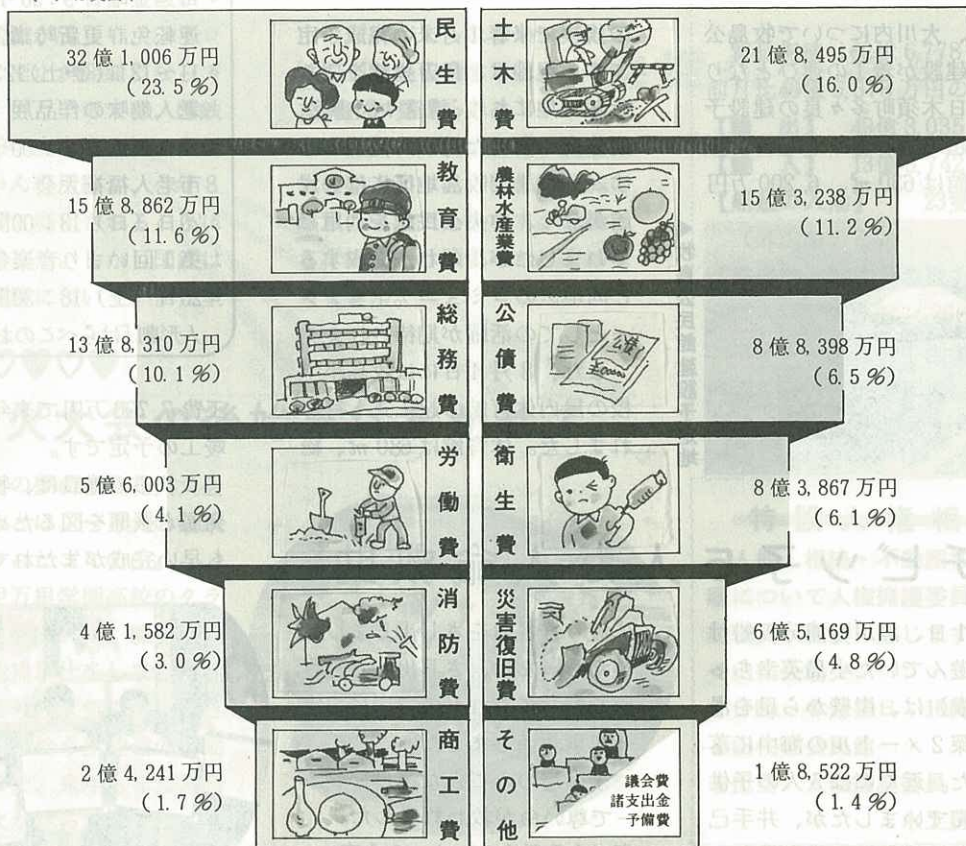
性質別の歳出割合



一般会計予算の使いみち

() は支出率

S 55. 5. 31 現在



支出済額 136億7,693万円 (市民1人当り 223,414円)

簡易生命保険積立金 融資事業の紹介



▲融資事業で整備された
大川内小学校グラウンド

簡易生命保険積立金融
事業 (5,600万円) によ
って大川内小学校の校地整備
をはじめ小中学校校舎の改
修を行いました。

特別会計

予算執行状況

(単位: 万円・%)

区 分	歳 入			歳 出		
	予算現額	収入済額	収納率	予算現額	支出済額	執行率
簡易水道	24,226	24,416	100.8	24,226	23,653	97.6
国民健康保険	260,489	264,833	101.7	260,489	227,101	87.2
と畜場	929	153	16.5	929	874	94.1
同和地区住宅 改修資金貸付	387	135	34.9	387	135	34.9
立花台地開墾事業	19,968	16,295	81.6	19,968	12,121	60.7
伊万里急患 医療センター	789	791	100.3	789	758	96.1
計	306,788	306,623	99.9	306,788	264,642	86.3

牧島公民館いよいよ着工

牧島小学校体育館も建設へ

大坪、大川内について牧島公民館の建設が着工の運びとなり8月10日木須町多々良の建設予定地で起工式がありました。

公民館は630㎡、6,200万円



▲牧島公民館建設予定地

の規模で来春1月末の完成予定です。現地は、伊万里湾を望む眺望の地にあり、講堂や図書室、研修室を備えた施設が完成します。これまで牧島地区には公民館がなく、中央公民館を利用していました。これが完成すると同地区のコミュニティセンターとしての活躍が期待されます。また、8月4日には牧島小学校の屋内体育館の起工式も行われました。体育館は680㎡、総

9月の市民会館行事予定

- 毎週金曜日 9:30・12:30 受付 運転免許更新時講習会
- 11～12日(金・土) 12:00～12:00 老人趣味の作品展 市民ロビー
- 12日(土) 9:00～17:00 市老人福祉大会 大ホール
- 20日(日) 13:00開演 第1回いまり音楽祭
- 26日(土) 18:30開演 人形劇「はらべこのおにごっこ」

工費7,700万円で来年1月20日竣工の予定です。

これらの施設は、牧島地区の発展と振興を図るために、一日も早い完成がまたれています。

チビツ子5人が人命救助

8月1日、黒川町浦分の船付き場で遊んでいた小島英幸ちゃん(2歳)は、岸壁から足を滑らせ水深2メートルの海中に落ちました。近くには5人の子供達が遊んでいましたが、井手己湖ちゃんは母親に、小島愛ちゃんは近所の家に行き、中学1年生の井生義佳君は、船

に渡り竹ざおをさし出しました。英幸ちゃんは、さし出した竹ざおを握ってくれたので岸に引寄せ無事救助しました。子供達のみごとな連けいプレーで尊い命が救われました。



▲小島直矢、井手義佳君、井手崇希、小島愛、井手己湖

大平山で少年郷土教室開かれる

市青少年育成会議は「ふるさと伊万里を築く青少年のつどい」事業の一環として、市内中学2年生男女69人を対象に8月6日から3日間、大平山公園で野外キャンプを行い

ました。

野外キャンプに参加した中学生は、テント設営、野炊の仕方、それに竹内市長から伊万里湾を見おろしながら伊万里の開発などの話や、市郷土史研究会の山口房一先生からは、見わたす山々、伊万里湾に浮ぶ島々の歴史物語りや、松浦党の歴史の話など、3日間みっちり研修を受けました。

キャンプファイヤーでは、各班の歌や寸劇など、研修の合間の楽しい一時をすごしました。



▲キャンプ場で竹内市長とともに楽しい食事

上伊万里駅

みかん専用線の廃止が継続協議に

国鉄再建法が成立し、赤字ローカル線の廃止が問題になっております。伊万里市では、国鉄松浦線が60年度末までに、上伊万里駅みかん専用線が、今年8月末をもって廃止されることになっていました。しかし国鉄はみかん専用線について、伊万里

市の理解がえられなかったため、こんど継続協議するということで廃止が見送られました。

これは、市民の皆様の廃止反対の盛上がりと、関係諸団体の熱意の成果であります。今後とも存続に向け頑張らなければなりません。



花火大会の後始末はまかせて

真夏の夜の夢の祭典花火大会が終わったあとは、一万人の観衆の残っていたゴミの山。

そこで伊万里学園高校のクラブ活動の生徒50人が、練習前の一時間、清掃奉仕をしました。

小雨まじりの天気の中、空きカンやゴミを拾う生徒達の活動があつてこそ、来年もまた素晴らしい花火が見られるでしょう。



▲空きカンやゴミを拾う生徒達

地区別飲酒運転検挙者数

(S56.7.31 現在伊万里警察署調べ)

地区名	1月~6月	7月	累計
伊万里	4	0	4
大坪	9	0	9
牧島	6	0	6
立花	8	1	9
大川内	4	0	4
黒川	7	0	7
波多津	3	0	3
南波多	2	2	4
大川	2	0	2
松浦	2	0	2
二里	4	1	5
東山代	7	0	7
山代	15	3	18
市外	24	4	28
計	97	11	108



7月

貿易実績は62億6,778万円で前月比49億6,578万円の増。

【輸出】 49億3,035万円

【輸入】 13億3,742万円

【船舶の入港】 23隻

(外国船のみ)

【寄港地上陸許可者数】

564人(フィリピン266人、インドネシア60人、中国106人、韓国115人、英国13人、マレーシア3人、スリランカ1人)

特設人権相談

人権・相続・不動産などの問題について人権擁護委員と法務局職員が相談に応じます。

<山代会場>

▲日時 9月10日 10時~15時

▲山代町公民館

▲担当 人権擁護委員

水上房代氏

大坪少年消防クラブが全国表彰

大坪小学校の少年消防クラブが8月1日、東京の全国大会で優良少年消防クラブとして、日本防火クラブより表彰を受けました。大坪小学校の消防クラブは、会員35人、54年に結成以来避難訓練、防火研修などを積極的に行うとともに、秋祭りや火災予防運動月間中の市内パレードにも参加し、同校の防火意識は高い水準となっています。この活動が認められ表彰を受けました。少年消防クラブは、少年

に対して明朗かつ達な気風を養い、火災予防思想の普及向上をめざして今、全国的に広がっています。



▲竹内市長に報告することどもたち



ほほえみ

熟年時代の到来(敬老の日特集)

いま、百人中9人(本市は13人)が65歳以上のお年寄り—これが34年後の昭和90年には18人と2倍になると予測されています。

老人問題は、なにも老人だけの問題ではなく、働き盛りの若い人もやがて直面しなければならぬテーマです。

9月15日は敬老の日、この日から一週間は「老人福祉週間」が始まります。

「まず健康で、暮しに困らずグチを言わなくてもすむ生きがいのある生活が送れること」といわれます。では生きがいは何でしょうか…。それは一人一人違うものでしょう。

年はとっても「老いる」のではなく、老いてますます豊かな熟年時代へと進みましょう。



かけ足でやってくる高齢者社会 (人口高齢化の国際比較) (資料)総理府「高齢者問題の現状」



▲久しぶりにさっぱりした

老後の生きがいは… (直撃インタビュー)

—何が楽しみですか。

「老人センターで朝から風呂に入り、歌ったり踊ったりすること。百歳まで長生きしてくらげの骨に会ってみたい」
東八谷棚の中島善右エ門さん(86才)

—趣味はありますか。

「ゲートボールは、何もかも忘れて楽しかばってん、近頃はカップ争いになって困ったもんだい」
馬伏の中村松三郎さん(84才)

あこがれの日本



おばあちゃんを訪ねて

山代町東分の山本ヨシノ(80才)さんは息子の川久保岸男さんが25年前、南米のアルゼンチンへ移住されています。この度、お孫さんの川久保千穂さん、スミカさんの二人が郷里のおばあさんを訪ねました。

姉の千穂さんは、4年前から佐世保の叔母さんの所で洋裁の勉強に、妹のスミカさんは、今年の4月に交換留学生として、東京学芸大学に来ていたものです。二人はアルゼンチンのミシ

オネス県ボサダス市に住んでいますが、邦人は40戸ぐらい、スミカさんは南米生まれ、おばあさんとは初めての対面です。

日本の印象は、山が多いのにびっくり、家ではトマトを3万株ほど作られています、日本の畑はままとみたい、と話してくれました。二人ともお父さんの厳しい教育で日本語も達者です。小さい頃からあこがれていた日本のふるさとで、おばあちゃんや親類の人に会えて本当

に嬉しかったそうです。

そんな二人に囲まれたおばあちゃんは、とっても幸せそうに眼を細めておられました。



▲おばあちゃんを真中に左から千穂さん、スミカさん





ひろば

No.1

心に太陽を くちびるにほほえみを

この頁は市民の皆さんが作るページです。
皆さんのご意見や作品をおまちしています。
秘書課 広報係☎2111 内線408まで



「創造の家で焼き物ば作いよるが、窯あけのときは、どがんなつろうかワクワクすばい」
松島町の野口倉一さん(79才)
—何か家庭に言いたいことは。

いい気分(理容組合慰問)

「昔と今は違うし、しゃあばいしても聞いてくれんけん言わぬが花かもね」
金石原の川本正さん(81才)

今日はほほえみさん



松浦町下分
松永民子さん

(S31年生)

6月から大川内山の伝統産業会館に勤めています。
趣味はレコード鑑賞、歌が好きで演歌を大声で歌います。
(モットー) 一日一日を大切に
(目標) 習字を習っていますが自分で教えられるぐらいまで頑張りたい。秋に友達と沖縄旅行を計画中。独身最後の旅になりそう。

—家庭で何か言われませんか。

「私は牛を飼うとるが、トラクターも動かすし、仕事を息子と分担しとるけん、何も言われんよ。早う息子に嫁が来んかそいだけが望みたい」

木須西の松尾平次さん(73才)

家庭から…

「うちのじいさんは、ゲートボールの日には、早起きして、田の草取ったり、自分の仕事をすませて、いそいそさすけん、すぐバレルたい。ステッキどん買うてやったくさい」。

二里町大里の山口幸人さん

「家におばあちゃんがいるから安心して仕事に出られます。本当に感謝してます」。

「何か自分の趣味をもって楽しく生活して欲しいですね」。

松浦町下分 永峰美津子さん

これからの方向は…

老人問題は、老人自身が趣味や仲間をつくり、生きがいをもつことも大切ですが、何よりも地域が一带となって、ボランティア活動やお年寄りの経験を生かせる機会を設け、オールドパワーの活用が図られなければなりません。

波多川小学校では、8月4日おじいさんやおばあさんを招いて、子供達の劇やおじいさんの子供の頃の話など楽しい交歓会を開きました。また、市内の理容組合では、10数年来、向陽園に散髪の手伝いを続けています。

市民会館横の創造の家では、週に一度の窯出しを楽しみにお年寄りが焼き物を作っておられます。

川柳ふるさとめぐり

大川町宿 貞包 録次郎さん

- けんか祭り(伊万里)
- トントン今りっばに組んで川落し
- 名村造船(黒川)
- 船景気 黒皮ふくらむ大財布
- 相撲甚句(波多津)
- 女相撲 かたづをのんで見る土俵
- 眺望千金(二里)
- 一で修道院二りで見せたい伊万里富士
- 市の花つつじ
- 東山 白赤つつじの竹の古場
- 佐代姫塚(山代)
- 恋の山 白い手を振り領巾を振り
- 盆行事(大川)
- お・お・可・愛い 子も交っている虎まわし
- 苗木づくり(松浦)
- 庭園師 松売らないかと 松に惚れ
- 南・○府招浮立(南波多)
- 南は田 吹き入る風に 浮立の音



ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

～その32～

米寿の祝いに真心のプレゼント

赤いチャンチャンコを贈る木須西の石丸つる子さん

もうすぐ敬老の日。各地でいろんな行事もあるようですが、あなたにも何かできることはありませんか。

木須町木須西の石丸つる子さん(57才)は、敬老の日に牧島町で米寿(88才)を迎えられた方に、毛糸で編んだ赤いチャンチャンコを贈りお年寄りからたいへん喜ばれています。

これは6年前に、良いことをするのは、口では簡単に言えるが、自分は果たして実行できるだろうか、自分自身を試すつもりで始められたものです。

最初は、こんなものを贈って喜んでもらえるだろうか、贈った家の方からこんな物、家で買ってあげると言われないか、ためらいもあったそうですが、お

年寄りが、涙をためて喜ばれ、本当によかったと続けられています。牧島町には、毎年3～4の方が米寿を迎えられますが、チャンチャンコは、着やすく暖かく、かぜをひかないと大好評だそうです。



▲編みあがったチャンチャンコと石丸さん

あの人この人 No.3

大川町駒鳴 野中ナルさん(94才)

大川町の野中敏明さん宅は、牛を100頭ほど買っておられますが、そこのおばあさんのナルさんは、飼料袋の口糸で座布団カバーやこたつ掛けを作っておられます。この廃物利用の作品は、54年に老人趣味の作品展で銀賞、55年には県知事賞に輝いています。飼料袋の口糸は50cmから1mほどの短かいもので、せっけんでよく洗い、もつれた糸をほどこき、一

本一本を丹念に結んでいかなければなりません。

白糸が主で、赤糸や黄や緑の糸で模様を入れます。模様には富士や松、それに家などナルさんが自分で考えた夢のあるものばかりです。もう94才のお年ですが、耳が少し不自由なだけでまだまだ元気、昔は機織りもしたそうです。作品は老人センターに寄贈したり、お孫さんへのプレゼントになります。

ナルさんは「たいていにきつかばってん」と言いながらも満足そうでした。使い捨て時代の今日、廃物利用でこんな素敵なものを作り出すナルさん、いつまでもお元気で頑張ってください。



▲廃物利用でこんなすてきな作品が。



▲南波多に畜産団地が完成(8/1)
五百頭の牛が飼育できる近代的な畜舎です。
牛君もモ〜気持ちよさそう。



▲ドライバーに冷茶のサービス(8/2)
山代交通対策協議会や母の会ではドライバーに冷茶をサービスし居眠り運転追放をよびかけました。



▲フルーツ観光シーズン開幕(8/20~9月末)
フルーツの里南波多ではフルーツ娘による宣伝隊を県内外へくり出しました。



▼市内小・中学校の子供達が日頃のわざを競いました。
▲青少年柔剣道大会開かる(8/1)

いま伊万里で

▼初期消火はまかせて
“あなたです火事を出すのも防ぐのも”
いざという時に備えて それ——!!

市民防火のつどい

(8/2)



▲レインジャーに挑戦!!
「2m、3mもうだめだ
あれ、こんなに高い助けて」



▲ドラえもんのスイカ割り
ちびっ子の人気を集めたスイカ割り
この他「火事だ!!」の大声コンテス
トもありました。

市職員を募集

申込受付 9月14日～10月3日

市職員採用試験を次のとおり行います。

▲試験区分と採用予定人員

- 一般事務=3名(男2、女1)
- 建築=1名(男)
- 保母=2名(女)
- 消防=1名(男)
- 看護婦=1名(女)
- 司書=1名

▲資格

昭和31年4月2日から昭和39

年4月1日までに生まれた方。(他に居住地制限があります)

▲受付 9月14日～10月3日

▲申込書・試験案内の請求

市役所総務課職員係で交付(郵便で請求の場合は封筒の表に「採用試験申込書請求」と朱書きし、70円切手をはってあて先明記の返信用封筒を同封のこと)
 ※申込書の交付は、市役所総務課職員係(〒848 伊万里市立花台1-1-1 ☎③2111 内線411, 418)で行います。

“伊万里の夜” レコード発売中!!

民謡日本一の崎田賢二さんがこのたびホメロス音楽KKよりレコードを出版しました。

このレコードは、A面が伊万里の夜、B面、伊万里音頭で1枚700円です。市観光協会またはしのはら楽器店で発売中です。



▲観光協会推せんのレコード



窒素やリンなど栄養塩類による公共用水域の富栄養化が進み伊万里湾でも赤潮が発生し、養殖魚が被害を受けています。

各家庭では無リン洗剤を使用するよう心がけ、「捨てない、汚さない、流さない」の3ない運動を日常生活に習慣づけましょう。



無集配郵便局は 9時からです

8月31日より無集配郵便局の郵便・電信・電話の窓口取扱い時間が9時からとなります。ご注意ください。

市内の無集配局は次のとおり大坪、大川内、伊万里瀬戸、二里、伊万里中里、浦ノ崎、久原東山代、伊万里大久保、滝川内

歴史の上に積みあげられた社会のしくみや人々の心にしみついている差別や偏見はそう簡単には改まりませんが、今日もっとも深刻で重大な人権問題は同和地区に対する差別や偏見です。

もともと封建社会を維持するためにつくられた不合理な身分差別は明治4年の解放令によって一応形の上では解消されましたが、実質的には

ます。
 では同和教育を通して私たちは
 ① 民主主義を守り民主的の社会をより確かなものにしていくこと。
 ② お互いが人権を守り人間尊重の精神を身につけること。
 いいかえれば同和教育によって人間性を高め自己変革にせまる学習を期待しているといえます。
 差別を憎み、みんなの幸福のため

同和教育シリーズNo.16

「同和教育」は自己研修の場です

何らなくなつてはおりません。

よく同和問題について「差別はしていない」「差別はない」などの言葉をききますが、直接自分にかかわりをもたないことと「差別を見る目」をもたず差別に気づいていないことからではないでしょうか。

同対審答申では同和問題は国民的課題であるとして国民のすべてが、自分自身の問題として取り組む同和教育の推進が必要であると述べてい

明るい町づくりに取り組むことは国民ひとりひとりの責任であるといえます。このようなことから同和教育の根底は人権尊重の精神であって、これがコミュニティづくり新生活運動の中核であり、原点であると思います。

このように同和教育は決して同和地区だけの教育ではありません。

民主社会の一員として国民自身のための研修の場であることをご理解いただきたいと思います。(社会教育課)

障害者趣味の作品展募集中

国際障害者年を記念して10月17日市民会館で障害者趣味の作品展が開かれます。

これは障害者の社会活動への参加と生きがいを高めるために行われるものです。

障害者の皆さんの積極的な出展をおまちしています。

▲出品部門

書、絵画、写真、手工芸品、

▲出品規定

市内在住の身体障害者・療育・戦傷病者手帳を所有の方、または施設入所者で1人3点以内とする。

▲申込期限 9月30日まで

市福祉事務所(電話2111、内261)へ

※優秀作品には部門ごとに、金銀、銅賞が用意されています。

ろうあ者緊急カードにあなたの協力を!!

福祉事務所では民生委員を通じて、ろうあ者の方に緊急カードを配っています。カードを見せられたらすみやかに対応されますようご協力をお願いします。



市民相談のご案内

お気軽にご利用を

市では、定例相談日を設けて各種の相談業務を行っています。お気軽にご利用ください。

▲相談内容

- 市政に対する相談(毎日)
- 社会保険相談(毎週金曜日)
- 法律相談(毎月第3木曜日)
- 内職相談(毎週水曜日)
- 交通事故(毎月第2・第4火曜日)
- 高齢者職業相談(土曜を除く毎日)
- 特設人権相談(第3火曜日)
- 消費生活相談(毎週月曜日)

▲場所 市役所市民相談室

▲時間 市政に対する相談は8時30分~17時。他は10時~15時。

9月15日は敬老の日

市内各地で敬老会

伊万里市は昭和56年度の敬老会を9月15日に老人福祉センターや各町公民館など14か所で行います。

今年75歳以上の方は、3,063名(男1,125名、女1,938名)おられ、95歳以上の方は武藤藤四郎さん、山口チエさん(共に98歳)をはじめ8名、また米寿の方が62名いらっしゃいます。

ありがとう



ありがとうございました

次のかたからご寄付いただきました。厚くお礼申しあげます。

社会福祉事業費へ

- ◆香典返しを寄付
- ・篠崎 満(亡父忠兵衛 波多津町浦)
- ・吉田悦子(亡夫徳男 黒川町奥野)
- ・平尾美子(亡夫喜代春 東山代町福住)
- ・百枝義満(亡父義春 脇田町)
- ・水町一男(亡母サノ 二里町川東)
- ・植崎正敏(亡父俊固 松島町)
- ・川原 悟(亡父勇一 東山代町滝川内)
- ・山口ユクノ(亡夫松次 山代町久原三区)
- ・市原ミツノ(亡夫末一 山代町久原一區)
- ・梶原チトセ(亡夫作平 東山代町長浜)
- ・小杉勝喜(亡母ヨツ 波多津町内野)

教育振興奨励基金へ

- ◆香典返しを寄付
- ・出雲悠司(亡母シメ 東山代町里)
- ◆体育振興奨励基金へ
- ・一万円 中島紘一(新天町)
- ・五万円 碓 俊彦(仲町イカリスポーツ開店を記念して)
- ◆明るい町づくり推進資金へ
- 【大川内公民館】
- ・副島七郎(亡母シカ 大川内町岩谷)
- 【南波多公民館】
- ・江口村一(亡母フサ 南波多町井手野)
- ・緑化基金へ
- ・三万千円 福園茂夫(立花町)
- ・山本タキエ(亡夫秋夫 山代町浦の崎)
- ・松本定次(亡母ハル 松島町)
- ・山口キクエ(亡夫榮次 大坪町六仙寺)
- ・松尾次郎(亡四男和美 東山代町里)
- ・土妻崎紀佐枝(亡義兄茂 大川町立川)
- ・塩塚 尊(亡父伍一 波多津町浦)
- ・藤井喜久江(亡夫廣市 脇田町)
- ・湖上 栄(亡母ジツ 大川町東田代)
- ・篠崎清一(亡姉ミヨ 波多津町浦)
- ・田中和利(亡父勝次 二里町大里)
- ・竹谷キミ代(亡三男保雄東山代町大久保)
- ・牟田シツヨ(亡夫知一 松浦町下分)
- ・富田幸男(亡父東 黒川町黒塩)
- ・中里招功(亡母ナツ 大坪町柳井町)
- ◆篤志寄付
- ・二万二千元 山本秋一(二里町作井手)
- ・期限満了の拾得金を)
- ・一万円 牧瀬敏昭(東京都)

こどものページ

—こどもたちが作ったページ—

今回は国見中学校の登場です。自分の学校の特色や学校生活、クラブ活動などどんなことでもかまいません。年に何回かこのようなページを作りますので、あなたも学校のことを書いてみませんか。



▲正面横の校訓の石

国見中の朝はスポーツで始まる

酷暑や厳寒のときでも、半袖ランパン、これが本校独得の朝のスポーツスタイルです。冬は肌をさす寒風の中での運動ですが、全員元気に参加しています。

これは5分前に無言集合となっており、ラジオ体操が済むと学年別朝のあいさつや連絡があります。その後レク行事にはいり、愉快にとびまわります。

雨の日は、座禅のあとに達先生考案の室内スポーツをやりま

厳しくて楽しい宿泊訓練

私たちの学校は、毎年5月下旬、学年別の宿泊訓練が行われます。これは6年前から実施されていますが、3泊4日の日程で、徹底した躰の訓練があります。お友達と一緒に生活ですから、食事のときや部屋ではこのうえもなく楽しいものです。

でも一たん活動に入れば、所員や先生方の厳しい指導がありますので、弱音をはく者はとてもついていけません。諫早での五家原岳(1,060 m)の登山の時でも、水筒1本に制限された行

動でしたから、のどのかわきときついのとで、私達は歯をくいしばって頑張りました。下山後弁当の空箱を捨てた人はとりに行かされました。その時は先生を恨みましたが、後になって、自己反省の大きい経験として、感謝しています。

今まで1年は黒髪少年自然の家、2年は国立諫早少年自然の家、3年は鹿児島研修センターでしたが、昨年から3年生だけ修学旅行に変わりました。



▲川原での飯合炊さん風景

二里・東山代老人会の皆さん

今年も文化祭へどうぞ

みなさんが楽しみにしていらっしゃる本校の文化祭。一昨年から生徒会がボランティア活動として始めたのですが、大変好評をうけ、私たち生徒会のこの上ない喜びです。

昨年は100人をこすお年寄りの方に、早朝からおいでいただき、どう案内したらよいか面くらいました。自分たちの孫の熱演にたとえ芸はまずくとも、無心に喜ばれています。

二里町及び東山代町の老人会の皆さん、今年も劇や踊りを一生けん命やりますので、皆さんお誘いあわせのうえ、そろっておいで下さい。



▲熱演する大里浮立



少年剣士
アメリカ
へ渡る

▲右から大古場、浦川君

剣道部の1年生、浦川卓也君と大古場勝洋君は、第6回日米親善少年剣道大会に日本代表74名の選手団の一員として参加しました。試合は、サンフランシスコとロサンゼルスで2回あり年令別の個人戦で浦川君が優勝大古場君が3位になるなど両君とも優秀な成績を収めました。